

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	単位型投信／海外／債券	
信 託 期 間	約 4 年11ヵ月間 (2015 年 6 月30日～2020 年 6 月 8 日)	
運 用 方 針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ日本企業外債マザーファンド 2015－06の受益証券
	ダイワ日本企業外債マザーファンド2015－06	米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等
ベビーファンドの運用方法	①主として、マザーファンドの受益証券を通じて、日系企業が発行する外貨建ての社債等（劣後債を除きます。以下同じ。）に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。 ※日系企業とは、日本企業もしくはその子会社をいいます。 ※社債等には、日本の政府機関、地方公共団体等が発行する債券を含みます。 ②マザーファンドの受益証券の組入比率は、通常の状態 で高位に維持することを基本とします。 ③保有実質外貨建資産については、（為替ヘッジあり）においては為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。（部分為替ヘッジあり）においては純資産総額の70％をめどに対円で為替ヘッジを行ないます。 ※保有実質外貨建資産とは、当ファンドが保有する外貨建資産およびマザーファンドが保有する外貨建資産のうち当ファンドに属するとみなした外貨建資産をいいます。	
マザーファンドの運用方法	①運用にあたっては、以下の点に留意します。 イ. 投資対象は、主として日系企業が発行する米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とします。 ※必ずしも、上記通貨のすべてが組入れられるわけではありません。 ロ. 流動性の確保およびポートフォリオの修正デュレーションの調整のため、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての海外の国債やコマーシャル・ペーパー等に投資することがあります。 ハ. 債券の格付けは、取得時において B B B 格相当以上（R & I、J C R、S & P、フィッチのいずれかで B B B－以上またはムーディーズで B a a 3 以上）とします。 ニ. ポートフォリオの修正デュレーションは、当ファンドの残存年数 +0.3（年）以内とすることをめざします。 ②為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
組 入 制 限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10％以下
分 配 方 針	分配対象額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のうちいずれか多い額とし、原則として、経費控除後の配当等収益の中から分配することをめざします。ただし、基準価額の水準等を勘案し、元本超過額も含めて分配を行なうことがあります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ日本企業外債ファンド
（為替ヘッジあり／部分為替ヘッジあり）
2015－06

運用報告書（全体版）
第 1 期
（決算日 2015年12月 8 日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ日本企業外債ファンド（為替ヘッジあり／部分為替ヘッジあり）2015－06」は、このたび、第 1 期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目 9 番 1 号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0 1 2 0－1 0 6 2 1 2

（営業日の 9：00～17：00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/> <2690>

<2691>

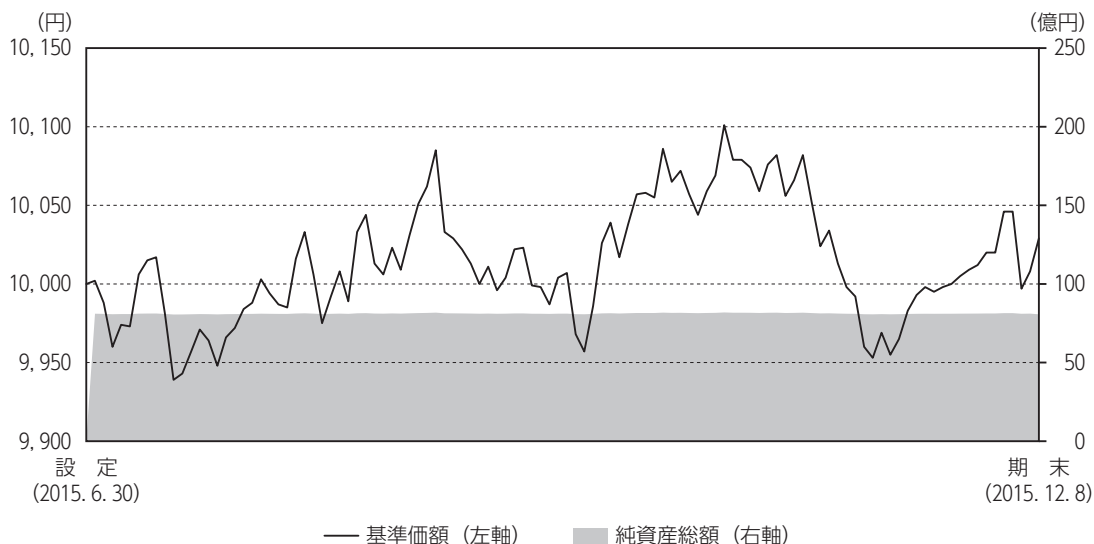
設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				受 益 者 利 回	公 社 債 組入比率	債 券 先物比率	元 本 残 存 率
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落額	期 中 騰落率				
	円	円	円	%	%	%	%	%
設 定 (2015年 6 月30日)	10,000	—	—	—	—	—	—	100.0
1 期末 (2015年12月 8 日)	9,954	75	29	0.3	0.7	98.0	—	100.0

(注 1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。
(注 2) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。
(注 4) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。
(注 5) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

基準価額等の推移について



（注）期末の基準価額は分配金込みです。

■基準価額・騰落率

設定時：10,000円

期 末：9,954円（分配金75円）

騰落率：0.3%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

「ダイワ日本企業外債マザーファンド2015-06」の受益証券を通じて、日系企業が発行する外貨建て債券に投資を行なった結果、債券からの利息収入などがプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

ダイワ日本企業外債ファンド（為替ヘッジあり） 2015－06

年 月 日	基 準	価 額	公 社 債 率	債 券 率
		騰 落 率		
(設定) 2015年 6 月30日	円	%	%	%
	10,000	—	—	—
6 月末	10,002	0.0	—	—
7 月末	9,985	△ 0.2	97.3	—
8 月末	10,013	0.1	94.9	—
9 月末	10,057	0.6	93.8	—
10月末	10,024	0.2	95.6	—
11月末	10,020	0.2	96.9	—
(期末) 2015年12月 8 日	10,029	0.3	98.0	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定比。

投資環境について

○海外債券市況

米国の国債金利は、中国株や原油価格が下落する中、安全資産への逃避需要や景気減速懸念に伴う早期利上げ観測の後退などを材料に、設定時から2015年10月半ばにかけていったん低下しました。しかしその後、FOMC（米国連邦公開市場委員会）の声明文を通して年内の利上げ観測が強まったことなどから、金利は上昇しました。

日系企業の外貨建て債券については、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は拡大し、利回りは上昇しました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

「ダイワ日本企業外債マザーファンド2015-06」の受益証券を高位に組入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないました。

○ダイワ日本企業外債マザーファンド2015-06

日系企業が発行する米ドル建て債券に投資し、流動性が高く、利回りに妙味のある金融セクターを中心としたポートフォリオを維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は75円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程

計算期間末における経費控除後の配当等収益64,439,336円が、純資産額の元本超過額23,779,618円を超過しているため、経費控除後の配当等収益64,439,336円（1万口当り79.49円）を分配対象額として、うち60,791,950円（1万口当り75円）を分配金額としております。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「ダイワ日本企業外債マザーファンド2015－06」の受益証券を高位に組入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行なってまいります。

○ダイワ日本企業外債マザーファンド2015－06

今後も、主として日系企業の米ドル建て債券に投資し、高利回りの金融セクターを中心に投資を行なうことにより高いポートフォリオ利回りを維持し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行なってまいります。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2015. 6. 30～2015. 12. 8)		
	金 額	比 率	
信託報酬	24円	0. 239%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10, 013円です。
(投信会社)	(14)	(0. 143)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(8)	(0. 084)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0. 012)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0. 007	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0. 003)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	25	0. 246	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年 6月30日から2015年12月 8日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ日本企業外債 マザーファンド2015－06	8, 029, 444	8, 028, 481	87, 077	88, 000

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
 親投資信託残高

種 類	当 期 末	
	□ 数	評 価 額
	千口	千円
ダイワ日本企業外債 マザーファンド2015－06	7, 942, 366	8, 057, 530

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年12月 8日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ日本企業外債 マザーファンド2015－06	8, 057, 530	98. 9
コール・ローン等、その他	91, 528	1. 1
投資信託財産総額	8, 149, 059	100. 0

- (注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
- (注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、12月 8日における邦貨換算レートは、1 アメリカ・ドル＝123. 27円です。
- (注 3) ダイワ日本企業外債マザーファンド2015－06において、当期末における外貨建純資産（10, 720, 994千円）の投資信託財産総額（10, 754, 643千円）に対する比率は、99. 7% です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年12月 8日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	16, 168, 353, 705円
コール・ローン等	89, 686, 791
ダイワ日本企業外債 マザーファンド2015－06（評価額）	8, 057, 530, 738
未収入金	8, 021, 136, 176
(B) 負債	8, 099, 772, 615
未払金	8, 019, 294, 530
未払収益分配金	60, 791, 950
未払信託報酬	19, 397, 058
その他未払費用	289, 077
(C) 純資産総額（A－B）	8, 068, 581, 090
元本	8, 105, 593, 422
次期繰越損益金	△ 37, 012, 332
(D) 受益権総口数	8, 105, 593, 422口
1万口当り基準価額（C／D）	9, 954円

- * 当期末の計算口数当りの純資産額は9, 954円です。
- * 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は37, 012, 332円です。

■損益の状況

当期 自2015年 6月30日 至2015年12月 8日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	36, 677円
受取利息	36, 677
(B) 有価証券売買損益	△ 72, 665, 971
売買益	229, 695, 777
売買損	△ 302, 361, 748
(C) 有価証券評価差損益	116, 116, 647
(D) 信託報酬等	△ 19, 707, 735
(E) 当期損益金（A＋B＋C＋D）	23, 779, 618
(F) 合計（E）	23, 779, 618
(G) 収益分配金	60, 791, 950
次期繰越損益金（F＋G）	△ 37, 012, 332

- (注 1) 有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。
- (注 2) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注 3) 収益分配金の計算過程は 5 ページをご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	75円

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

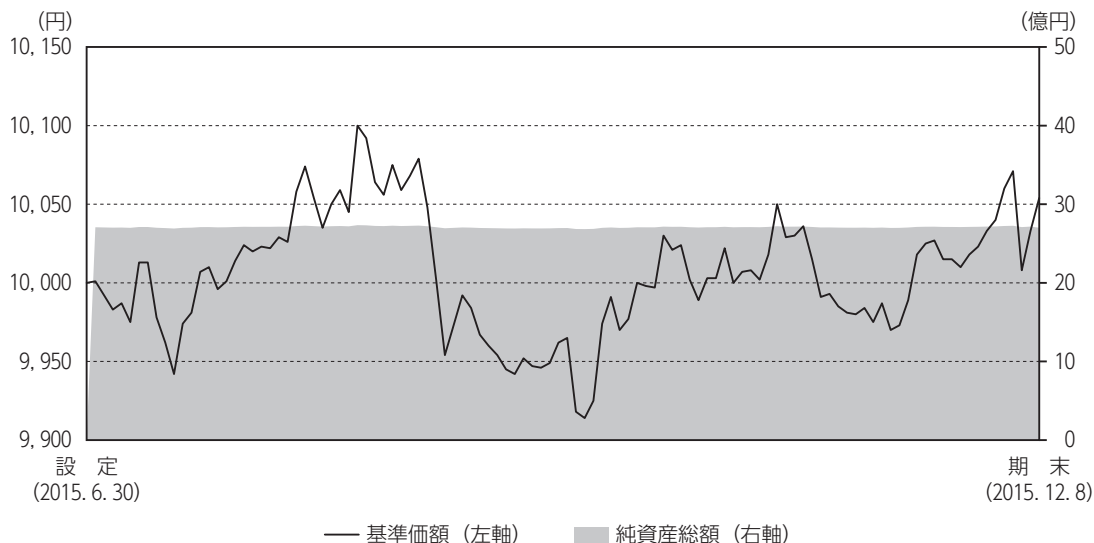
設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				受 益 者 利 回 り	公 社 債 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	元 本 残 存 率
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落額	期 中 騰落率				
	円	円	円	%	%	%	%	%
設 定 (2015年 6 月30日)	10,000	—	—	—	—	—	—	100.0
1 期 末 (2015年12月 8 日)	9,979	75	54	0.5	1.2	98.0	—	100.0

(注 1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。
(注 2) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。
(注 4) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。
(注 5) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

基準価額等の推移について



（注）期末の基準価額は分配金込みです。

■基準価額・騰落率

設定時：10,000円

期 末：9,979円（分配金75円）

騰落率：0.5%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

「ダイワ日本企業外債マザーファンド2015-06」の受益証券を通じて、日系企業が発行する外貨建て債券に投資を行なった結果、債券からの利息収入や米ドル円の上昇（円安）などがプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

ダイワ日本企業外債ファンド（部分為替ヘッジあり） 2015-06

年 月 日	基 準	価 額	公 社 債 率	債 券 率
		騰 落 率		
(設定) 2015年 6 月30日	円	%	%	%
	10,000	—	—	—
6 月末	10,001	0.0	—	—
7 月末	10,026	0.3	97.2	—
8 月末	9,984	△ 0.2	95.5	—
9 月末	10,000	0.0	94.7	—
10月末	9,991	△ 0.1	96.2	—
11月末	10,033	0.3	97.1	—
(期末) 2015年12月 8 日	10,054	0.5	98.0	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定比。

投資環境について

○海外債券市況

米国の国債金利は、中国株や原油価格が下落する中、安全資産への逃避需要や景気減速懸念に伴う早期利上げ観測の後退などを材料に、設定時から2015年10月半ばにかけていったん低下しました。しかしその後、FOMC（米国連邦公開市場委員会）の声明文を通して年内の利上げ観測が強まったことなどから、金利は上昇しました。

日系企業の外貨建て債券については、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は拡大し、利回りは上昇しました。

○為替相場

米国の利上げ時期をめぐる観測に左右される中、為替は設定時から円安基調で推移しましたが、2015年8月下旬に中国による人民元の基準値切下げから世界経済への懸念が高まり、リスク回避の動きから円が買われる展開となりました。その後は、米国の利上げ観測が強まり為替は円安米ドル高に転じ、設定時と比較すると米ドルは対円で上昇となりました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

「ダイワ日本企業外債マザーファンド2015-06」の受益証券を高位に組入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、部分為替ヘッジを行ないました。

○ダイワ日本企業外債マザーファンド2015-06

日系企業が発行する米ドル建て債券に投資し、流動性が高く、利回りに妙味のある金融セクターを中心としたポートフォリオを維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は75円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程

計算期間末における経費控除後の配当等収益21,598,595円が、純資産額の元本超過額14,735,990円を超過しているため、経費控除後の配当等収益21,598,595円（1万口当り79.79円）を分配対象額として、うち20,300,563円（1万口当り75円）を分配金額としております。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「ダイワ日本企業外債マザーファンド2015-06」の受益証券を高位に組入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、部分為替ヘッジを行なってまいります。

○ダイワ日本企業外債マザーファンド2015-06

今後も、主として日系企業の米ドル建て債券に投資し、高利回りの金融セクターを中心に投資を行なうことにより高いポートフォリオ利回りを維持し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行なってまいります。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2015. 6. 30～2015. 12. 8)		
	金 額	比 率	
信託報酬	24円	0. 239%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10, 005円です。
(投信会社)	(14)	(0. 143)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(8)	(0. 084)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0. 012)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0. 007	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0. 003)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0. 001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	25	0. 246	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年 6月30日から2015年12月 8日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ日本企業外債 マザーファンド2015-06	2, 679, 912	2, 679, 606	21, 755	22, 000

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況
当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	当 期 末	
	□ 数	評 価 額
	千口	千円
ダイワ日本企業外債 マザーファンド2015-06	2, 658, 157	2, 696, 700

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年12月 8日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ日本企業外債 マザーファンド2015-06	2, 696, 700	98. 9
コール・ローン等、その他	31, 344	1. 1
投資信託財産総額	2, 728, 045	100. 0

- (注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
- (注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、12月 8 日における邦貨換算レートは、1 アメリカ・ドル＝123. 27円です。
- (注 3) ダイワ日本企業外債マザーファンド2015-06において、当期末における外貨建純資産 (10, 720, 994千円) の投資信託財産総額 (10, 754, 643千円) に対する比率は、99. 7% です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年12月 8日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	4, 601, 533, 690円
コール・ローン等	30, 949, 636
ダイワ日本企業外債 マザーファンド2015-06 (評価額)	2, 696, 700, 284
未収入金	1, 873, 883, 770
(B) 負債	1, 900, 356, 461
未払金	1, 873, 488, 487
未払収益分配金	20, 300, 563
未払信託報酬	6, 471, 025
その他未払費用	96, 386
(C) 純資産総額 (A - B)	2, 701, 177, 229
元本	2, 706, 741, 802
次期繰越損益金	△ 5, 564, 573
(D) 受益権総口数	2, 706, 741, 802口
1万口当り基準価額 (C / D)	9, 979円

- * 当期末の計算口数当りの純資産額は9, 979円です。
- * 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は5, 564, 573円です。

■損益の状況

当期 自2015年 6月30日 至2015年12月 8日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	10, 078円
受取利息	10, 078
(B) 有価証券売買損益	△ 17, 531, 567
売買益	53, 744, 676
売買損	△ 71, 276, 243
(C) 有価証券評価差損益	38, 846, 490
(D) 信託報酬等	△ 6, 589, 011
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)	14, 735, 990
(F) 合計 (E)	14, 735, 990
(G) 収益分配金	20, 300, 563
次期繰越損益金 (F + G)	△ 5, 564, 573

- (注 1) 有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。
- (注 2) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注 3) 収益分配金の計算過程は13ページをご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	75円

分配金の課税上の取扱いについて

- ・ 分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・ 法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・ 税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・ 課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

ダイワ日本企業外債マザーファンド2015－06

運用報告書 第1期（決算日 2015年12月8日）

（計算期間 2015年6月30日～2015年12月8日）

ダイワ日本企業外債マザーファンド2015－06の第1期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等
運用方法	①主として、日系企業が発行する外貨建ての社債等（劣後債を除きます。以下同じ。）に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。 ※日系企業とは、日本企業もしくはその子会社をいいます。 ※社債等には、日本の政府機関、地方公共団体等が発行する債券を含みます。 ②運用にあたっては、以下の点に留意します。 イ、投資対象は、主として日系企業が発行する米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とします。 ※必ずしも、上記通貨のすべてが組入れられるわけではありません。 ロ、流動性の確保およびポートフォリオの修正デュレーションの調整のため、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての海外の国債やコマーシャル・ペーパー等に投資することがあります。 ハ、債券の格付けは、取得時においてB B B格相当以上（R & I、J C R、S & P、フィッチのいずれかでB B B－以上またはムーディーズでB a a 3以上）とします。 ニ、ポートフォリオの修正デュレーションは、当ファンドの残存年数+0.3（年）以内とすることをめざします。 ③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

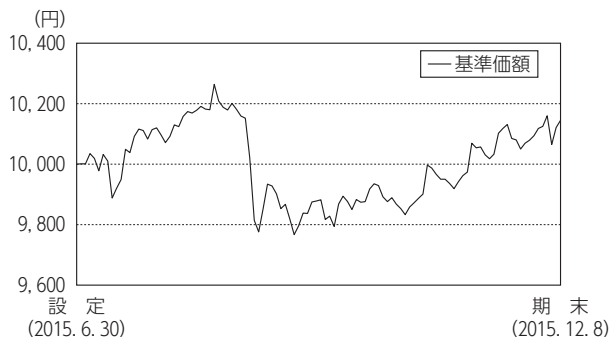
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組入比率	債 券 先物比率
	円	騰 落 率		
(設定) 2015年 6 月 30日	10, 000	—	—	—
6 月末	10, 001	0.0	—	—
7 月末	10, 124	1.2	97.6	—
8 月末	9, 928	△ 0.7	97.3	—
9 月末	9, 883	△ 1.2	97.1	—
10 月末	9, 936	△ 0.6	98.1	—
11 月末	10, 094	0.9	97.8	—
(期末) 2015年12月 8 日	10, 145	1.5	98.1	—

(注 1) 騰落率は設定比。

(注 2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

(注 3) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

設定時：10,000円 期末：10,145円 騰落率：1.5%

【基準価額の主な変動要因】

主として日系企業が発行する外貨建て債券に投資を行なった結果、債券からの利息収入や米ドル円の上昇（円安）などがプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

◆投資環境について

○海外債券市場

米国の国債金利は、中国株や原油価格が下落する中、安全資産への逃避需要や景気減速懸念に伴う早期利上げ観測の後退などを材料に、設定時から2015年10月半ばにかけていったん低下しました。しかしその後、FOMC（米国連邦公開市場委員会）の声明文を通して年内の利上げ観測が強まったことなどから、金利は上昇しました。

日系企業の外貨建て債券については、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は拡大し、利回りは上昇しました。

○為替相場

米国の利上げ時期をめぐる観測に左右される中、為替は設定時から円安基調で推移しましたが、2015年8月下旬に中国による人民元の基準値切下げから世界経済への懸念が高まり、リスク回避の動きから円が買われる展開となりました。その後は、米国の利上げ観測が強まり為替は円安米ドル高に転じ、設定時と比較すると米ドルは対円で上昇となりました。

◆ポートフォリオについて

日系企業が発行する米ドル建て債券に投資し、流動性が高く、利回りに妙味のある金融セクターを中心としたポートフォリオを維持しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

今後も、主として日系企業の米ドル建て債券に投資し、高利回りの金融セクターを中心に投資を行なうことにより高いポートフォリオ利回りを維持し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行なってまいります。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	0
（保管費用）	（ 0）
（その他）	（ 0）
合 計	0

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出方法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注 2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

ダイワ日本企業外債マザーファンド2015－06

■売買および取引の状況

公 社 債

(2015年 6 月30日から2015年12月 8 日まで)

外 国	アメリカ	特殊債券	買 付 額	売 付 額
			千アメリカ・ドル 3,804	千アメリカ・ドル —
			(—)	(—)
国		社 債 券	82,123	—
			(—)	(—)
			(—)	(—)

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注 2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注 3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。
(注 4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2015年 6 月30日から2015年12月 8 日まで)

当			期	
買 付			売 付	
銘 柄		金 額	銘 柄	
		千円		
Nomura Holdings Inc（日本）2.75% 2019/3/19		940,393		
Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ Ltd/The（日本）3.25% 2024/9/8		924,194		
Mitsubishi UFJ Lease&Finance Co Ltd（日本）2.5% 2020/3/9		923,452		
Mizuho Bank Ltd（日本）3.2% 2025/3/26		919,654		
Sumitomo Mitsui Trust Bank Ltd（日本）1.8% 2018/3/28		882,112		
Suntory Holdings Ltd（日本）2.55% 2019/9/29		738,014		
Sumitomo Mitsui Banking Corp（日本）3.95% 2023/7/19		650,174		
ORIX Corp（日本）3.75% 2017/3/9		514,485		
JAPAN FIN. CORP. MUNI. ENT.（日本）2.375% 2025/2/13		471,965		
Nissan Motor Acceptance Corp（アメリカ）2.125% 2020/3/3		454,137		

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作 成 期	当				期			
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入 比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5 年以上	2 年以上	2 年未満
区 分	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	85,515	85,626	10,555,206	98.1	—	41.2	48.8	8.1

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注 3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分		銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
						外 貨 建 金 額	邦貨換算金額	
						千アメリカ・ドル	千円	
アメリカ	JAPAN FIN. CORP. MUNI. ENT.	特殊債券	2.3750	4,000	3,834	472,735	2025/02/13	
	Mizuho Bank Ltd	社 債 券	3.2000	7,500	7,366	908,114	2025/03/26	
	Sumitomo Mitsui Banking Corp	社 債 券	3.0000	2,000	1,978	243,943	2023/01/18	
	Mitsubishi Corp	社 債 券	1.8750	2,000	2,008	247,528	2017/07/13	
	Mitsubishi UFJ Trust & Banking Corp	社 債 券	2.4500	2,915	2,917	359,630	2019/10/16	
	Suntory Holdings Ltd	社 債 券	1.6500	1,000	994	122,628	2017/09/29	
	Suntory Holdings Ltd	社 債 券	2.5500	5,900	5,889	725,969	2019/09/29	
	Toyota Motor Credit Corp	社 債 券	2.7500	3,500	3,556	438,352	2021/05/17	
	Nissan Motor Acceptance Corp	社 債 券	2.1250	3,700	3,654	450,461	2020/03/03	
	Sumitomo Mitsui Trust Bank Ltd	社 債 券	1.8000	7,100	7,068	871,304	2018/03/28	
	Japan Tobacco Inc	社 債 券	2.1000	1,000	1,002	123,584	2018/07/23	
	ORIX Corp	社 債 券	3.7500	4,000	4,088	504,001	2017/03/09	
	ORIX Corp	社 債 券	2.9500	1,000	1,004	123,816	2020/07/23	
	Central Nippon Expressway Co Ltd	社 債 券	2.1700	3,300	3,310	408,092	2019/08/05	
	AMERICAN HONDA FINANCE	社 債 券	2.2500	2,000	2,021	249,145	2019/08/15	
	Toyota Motor Credit Corp	社 債 券	2.6250	1,000	987	121,734	2023/01/10	
	Toyota Motor Credit Corp	社 債 券	3.4000	3,000	3,144	387,597	2021/09/15	
	Sumitomo Mitsui Banking Corp	社 債 券	3.9500	5,000	5,244	646,452	2023/07/19	
	Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ Ltd/The	社 債 券	3.2500	7,500	7,448	918,173	2024/09/08	
	Nomura Holdings Inc	社 債 券	2.7500	7,500	7,598	936,700	2019/03/19	
	Mitsubishi UFJ Lease&Finance Co Ltd	社 債 券	2.5000	7,500	7,391	911,193	2020/03/09	
	Mitsubishi Corp	社 債 券	2.8750	680	696	85,801	2018/07/18	
	Mitsubishi Corp	社 債 券	3.3750	2,420	2,419	298,241	2024/07/23	
合 計	銘柄数	23銘柄						
	金 額			85,515	85,626	10,555,206		

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注 2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年12月8日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	10,555,206	98.1
コール・ローン等、その他	199,436	1.9
投資信託財産総額	10,754,643	100.0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、12月8日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=123.27円です。

(注 3) 当期末における外貨建純資産（10,720,994千円）の投資信託財産総額（10,754,643千円）に対する比率は、99.7%です。

ダイワ日本企業外債マザーファンド2015－06

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年12月 8 日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	10,754,643,190円
コール・ローン等	124,578,074
公社債（評価額）	10,555,206,964
未収利息	73,895,789
前払費用	962,363
(B) 負債	—
(C) 純資産総額（A－B）	10,754,643,190
元本	10,600,523,433
次期繰越損益金	154,119,757
(D) 受益権総口数	10,600,523,433口
1万口当り基準価額（C／D）	10,145円

* 設定時における元本額は10,596,088,520円、当期中における追加設定元本額は113,268,610円、同解約元本額は108,833,697円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ日本企業外債ファンド（為替ヘッジあり）2015－06 7,942,366,425円、ダイワ日本企業外債ファンド（部分為替ヘッジあり）2015－06 2,658,157,008円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,145円です。

■損益の状況

当期 自2015年6月30日 至2015年12月 8 日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	120,112,327円
受取利息	120,112,327
(B) 有価証券売買損益	36,771,425
売買益	82,776,196
売買損	△ 46,004,771
(C) その他費用	△ 329,082
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	156,554,670
(E) 解約差損益金	△ 1,166,303
(F) 追加信託差損益金	△ 1,268,610
(G) 合計（D＋E＋F）	154,119,757
次期繰越損益金（G）	154,119,757

（注1） 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注2） 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。